

令和4年度 第4回理事会 議事録

日 時 令和5年3月11日(土) 13:30～

場 所 北海きたえーる中研修室

理事出席者 生島会長、紺屋正雄、黒田謙二、渋谷研一、
印藤智一、丸山道博、田中昌幸、齊藤幸治、
石崎 賢、川崎尚子、笹森恭之、奥山 諭、
浅野泰弘、藤原 正、多田吉宏、千葉三郎、
鎌田勝広、川口智将、田中 淳、志手典之、
山内孝夫、中川裕行、宮原 勉、奈良孝伸、
松野清佳、佐見洋治、沓澤幸一、辻井淳一

リモート出席者 伊山和宏、永谷 稔

(監事) 須田正毅、(総務) 坂本雅春(議事録)

1 開会(齊藤総務委員長)

理事36名中、30名の参加があり定足数に達し、理事会が成立していることが報告された。

2 会長あいさつ(生島会長)

今年度も残すところ僅かとなり、各種事業も無事開催できたことに感謝申し上げます。

今理事会は久しぶりの対面開催が実現し、こうして多くの理事に参加いただけたことを嬉しく思っており、新年度に向けた事業計画や予算案など、多くの議題について審議いただくの
よろしく願います。

3 議事録署名人の選出

以降、会長が議長となり議事進行。

議事録署名人に生島会長のほか、多田常任理事、鎌田理事を指名。

4 協議事項

各担当から、以下のとおり説明がなされ、全ての案件が承認された。

(1) 令和5年度 協会運営の基本方針について(印藤理事長)

協会創立100周年に向け、さらなる発展の礎を築くため、強固な財政基盤と組織改革の検討をはじめとした重点目標等が提案された。

(2) 令和5年度 事業計画について

①総務委員会(齊藤総務委員長)

評議員会や理事会などの各種会議を開催するほか、法人化に向けた準備を進めるため法人設立準備会議を随時開催する。

また、Vリーグや法人化に係る業務担当者を配置して集中的に業務推進を図るほか、道協会スポーツドクターと連携し、選手の怪我予防や治療のサポートを行うメディカルユニットの構築を検討する。

②競技委員会(石崎競技委員長)

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)が、8月1日～5日に釧路市等で、8月7日から11日に旭川市で開催するほか、ビンテージ8の全国大会も10月6日から

函館市で開催される。

今後は、競技委員の人材発掘と養成に努めるとともに、道協会主催大会の輪番制について再検討を行う。

③審判委員会（川崎審判委員長）

4月1日に全道審判委員長会議を、4月2日に伝達講習会を北翔大学で開催する。

8月のインターハイには多くの道内審判員に参加いただく。また、全国ラインジャッジ講習会の開催について案内するので確認願う。

④強化委員会（奥山強化委員長）

中学は例年どおりJOCを中心に、高校は国体選抜強化を計画している。

基金を活用した国体少年強化対策事業として道外チームとの強化合宿を実施したいと考えており160万円の基金活用をお願いする。

⑤指導普及委員会（笹森指導普及委員長）

全道指導普及委員長会議は4月8日に開催予定。

中学ジュニアキャンプが50周年を迎え、これに合わせハンドブックを改訂する。

芦別・富良野で開催している中学生の各大会は、物価・ホテル代の高騰により負担が大きくなっており、令和6年度に向けて検討を行う。

小学生サマーキャンプは中止が決定された。

道公認コーチ講習会は、各地区協会の協力を得て開催しているが、次年度も積極的な開催をお願いする。

（質疑）

・総務委員会のメディカルユニットとはどういったものか？

⇒今後、具体的に調整して行くが、道協会スポーツドクターである旭川医科大学の小原医師から提案をいただき、全道バレーボール選手の怪我予防や治療のサポート等を道協会が窓口となって行うため、道内に点在するスポーツドクターのネットワーク構築を目指すもの。（印藤理事長）

・指導普及委員会の道公認コーチ講習会の実施状況等は？

⇒主体となる各地区協会の事情や新型コロナの影響に伴う短縮開催など状況は異なるが、多くの地区協会に協力いただき実施されている。

(3) 高校選手権大会参加料の増額について（石崎競技委員長）

大会経費は大会参加料で賄うことを基本とし、他の高校大会と同様の取扱いとするため、令和5年度から高校選手権大会参加料を20,000円に増額する提案がなされた。

(4) 令和5年度 一般会計・特別会計予算について（齊藤総務委員長）

一般会計予算の収入の部では、繰越金のほか、大学・高専・中体連・ヤング連・小連の各カテゴリーの賦課金と高校選手権大会参加料の増額や、Vリーグチームとの業務委託料を見込み、収入合計で2,050万円を計上する。

一方、支出の部では、事業費において、競技委員会の競技委員増員や審判委員会と指導普及委員会の強化育成基金活用事業を一般会計で措置したことによる増額、Vリーグ業務委託料を原資としたVリーグ開催交付金を見込んだほか、大会参加料に高校選手権大会参加料の増額分を計上する。

また、総務委員会費、会議費及び旅費では、Vリーグや各種大会・会議で使用するWi-Fi通信料や会議増加を見込み増額計上したほか、委託料に公認会計士・行政書士への委託料を計上し、公租に各種税金を見込み、支出合計で2,050万円を計上する。

特別会計予算については、第2回理事会で承認を得たとおり、財政調整基金残高を900万円に、特別事業等基金残高を0円として、強化育成基金に移行したうえで、強化育成基金の収入に各基金前年度繰越額を見込み1,686万円を計上する。

一方、強化育成基金の支出には、3期1年目の国体少年強化対策事業として160万円を計上する提案がなされた。

(質疑)

・公租の40万円の根拠は？

⇒収益見込129万円に法人税等の税率を乗じて積算し予算計上しているが、経費算入分を見込んでおらず、その分多めの予算計上となっている。(齊藤総務委員長)

(意見)

・一般会計収入の部の「委託料(Vリーグ委託料)」は、支出科目と区別するため修正した方が良いとの意見があり、科目修正を会長に一任することが承認された。

⇒「受託収入(Vリーグ受託収入)」に科目修正する。(齊藤総務委員長)

(5) 令和5年度 定時・臨時評議員会の開催日程等について(齊藤総務委員長)

規約第32条に基づき、定時及び臨時評議員会の開催日時、場所及び協議事項等について提案がなされた。

定時評議員会は、令和5年5月13日(土)の15時から、きたえーる研修室で開催し、令和4年度の事業報告と各会計決算認定等について協議する。

また、臨時評議員会は、同日の16時30分から同所で開催し、役員改選に伴う評議員会議長の互選等について協議する提案がなされた。

(6) 法人設立基本方針について(齊藤総務委員長)

第2回理事会で承認を得た令和7年度の法人設立に向け、次年度以降、具体的な準備に取り組むため、法人設立の目的や法人形態などを定めた法人設立基本方針を策定する。

法人形態は、34加盟団体との連携のもと、人と人とのつながりを基本とした運営形態が維持しやすい制度を選択し、設立に係るコスト面や容易性等を考慮して「一般社団法人(非営利型)」を目指すことなどが提案された。

(質疑)

企業等からの寄附金を得られやすい公益財団法人の設立は難しいか？

⇒公益財団法人は、寄附金控除の対象となり、企業等から寄付が求めやすくなるが、その分、公益性も求められハードルも高くなることから、容易性を考慮した一般社団法人を設立したいと考えているが、行政書士にも相談して対応する。(印藤理事長)

(7) 役員等選考委員会委員の選任について(齊藤総務委員長)

次期役員改選に向け、役員等選考委員会運営規程第3条に基づき、副会長代表に渋谷副会長、理事長に印藤理事長、評議員代表に小川評議員会議長、監事代表に須田監事、常任理事代表に丸山副理事長の委員選任が提案された。

(8) 北海道バレーボール協会規約の一部改正について(齊藤総務委員長)

協会創立100周年を見据えた基金管理のより一層の適正化と法人化や中学校部活動の地域移行等の諸課題に集中的に対応する役員の体制強化を図るため、第6条、第24条及び第25条を改正し、施行期日を定時評議員会の開催日である令和5年5月13日として評議員会に提案する提案がなされた。

(9) 北海道バレーボール協会財政調整基金規程の一部改正について(齊藤総務委員長)

第2回理事会で承認を得た、財政調整基金に特別事業等基金を統合することで、法人

化を見据えた基金管理の適正化を図るため、第2条及び第4条を改正し、施行期日を令和5年3月11日として定めるほか、平成23年3月10日制定の北海道バレーボール協会特別事業等基金規程を廃止する提案がなされた。

(10) 北海道バレーボール協会競技者及び役員倫理規程の一部改正について（齊藤総務委員長）

倫理規程の処分内容のうち、競技者に対する競技会等への出場及び参加資格と役員に対する役員資格に係る無期限処分の取扱いの明確化を図るため、第4条第4項を改正し、施行期日を令和5年3月11日として定める提案がなされた。

5 報告事項

(1) 倫理規程違反の処分解除について（齊藤総務委員長）

令和4年12月17日開催の第3回理事会において承認が見送られた、倫理規定違反の処分解除について、令和5年1月18日に開催した倫理委員会で協議したことから、その経過と結果が報告された。

倫理委員会からは、道協会が暴力の根絶を掲げる中、2度目の暴力で無期限処分となった者を復活させるのは抵抗感が強いなどの意見があり、今後、日本バレーボール協会が、大会参加の復帰規程を策定するのであれば、それを待って、その規程に準拠して、更生プログラムを整備したうえで処分解除を検討することが決定された。

これを受け、道協会としても、倫理委員会の協議結果に基づき、日本バレーボール協会から無期限処分に対する解除の状況を確認したうえで、必要に応じて復帰規程の整備を検討することが報告された。

(2) 日本協会関係（印藤理事長）

2月22日にブロック理事長会議が開催され、今後、全国大会の開催については、ブロック単位で調整することが報告された。

特に9人制の全国大会開催に向けて、北海道として、大会開催の受入のあり方を検討する必要があり、丸山副理事長を中心に検討していく。

都道府県協会の法人化に向けた設立経費の支援を行うため、MRSシステムの見直しを検討されている。

道外強豪校顧問の逮捕事件など、依然としてバレー界の体罰が無くない中、「暴力撤廃アクション」の取組みを進めるので協力願うとの報告がなされた。

(3) 各委員会

・総務委員会（齊藤総務委員長）

次回、定時理事会は令和5年5月13日（土）13時30分からきたえーるで、臨時理事会は、同日16時から、きたえーる研修室で開催する。

・審判委員会（川崎審判委員長）

2月22日に全国審判委員長会議が開催され、大きなルール改正がないことが報告された。

ネーションズリーグ男女大会（韓国・アメリカ）に、村中氏と明井氏が参加する。

・指導普及委員会（笹森指導普及委員長）

中学部活動の地域移行については、自治体によって動きが異なる状況から、各地区協会においても各地区中体連や教育委員会などと情報共有をお願いする。

暴力・暴言根絶について協力願う。直近においても道協会でも事案があり指導対応した

ところであり、各地区協会も協力願う。

(意見)

暴力・暴言についてはなかなか無くならない状況だが、今後も、根絶に向けた取り組みをそれぞれの立場で、でき得ることをしっかりとやっていただくことを願います。

(生島会長)

6 その他(印藤理事長)

令和5年度は、役員改選や法人設立準備など協会運営が大きく変わる年になる。

今後の協会運営に当たって、各地区協会から道協会に対する要望や意見を伺う機会を設定したいと考えているので協力願う。

7 閉会

【次回理事会：5月13日(土) 13:30～ 北海きたえーる研修室】

議事録署名人

会

長

生島典明

議事録署名人

鎌田 勝広 (録)

議事録署名人

多田 吉宏 (録)